

## 問合せ先：

[日本化学会事務局]  
101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
(社)日本化学会 企画部 PACIFICHEM 係  
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318  
E-mail: pacifichem@chemistry.or.jp

[PACIFICHEM 2015 Congress Secretariat]  
c/o American Chemical Society  
1155 16th St. N.W.  
Washington, D.C. 20036, U.S.A.  
FAX: +1-202-872-6128  
E-mail: pacifichem@acs.org

## “Nomenclature of Organic Chemistry: IUPAC Recommendations and Preferred Names 2013”の発刊について

日本化学会命名法専門委員会

これまで IUPAC (国際純正・応用化学連合) から有機化合物命名法に関する勧告が出版物 (いわゆる Blue Book) として度々刊行されてまいりました。この度、IUPAC の新たな Blue Book が The Royal Society of Chemistry から表題のような出版物として刊行されましたので、お知らせいたします。

現在用いられている有機化合物命名法は、1979 年に刊行された「有機化合物命名法 A, B, C, D, E, F および H の部」<sup>1)</sup> (以下 1979 勧告) により定められましたが、その後 1993 年に刊行された「有機化合物命名法ガイド」<sup>2)</sup> (以下 1993 勧告) により一部補足・修正が行われました。1993 勧告はいわば中間報告にあたるもので、その刊行と並行して 1992 年から本格的な改訂に向けての努力が IUPAC の関連委員会で行われてきましたが、昨年 12 月にその成果が表題の著書「有機化合物命名法 IUPAC 勧告と優先名 2013」<sup>3)</sup> (以下 2013 勧告) として発刊されました。1979 勧告以来の大幅な改訂であり、今後しばらく有機化合物命名法の国際的基準となると思われます。

2013 勧告には、1979 勧告、1993 勧告及びその後の改訂などを基とした数多くの命名法が実例とともに記載されているほか、これまで対象とされていなかったファン (phane) 化合物、フラレン類などの命名法及び同位体で修飾された化合物、立体化学、天然有機化合物に関する命名法も合わせて記載されています。

今回の勧告のもう 1 つの特徴は「優先 IUPAC 名」(preferred IUPAC name, 略称 PIN) と「一般 IUPAC 名」(general IUPAC name) という概念が導入されたことです。本来、IUPAC の定めた命名法規則に従って命名すると、1 つの名称に行き着くはずですが、化合物によっては、規則に従って命名しても複数の名称が可能となることがあります。例えば、エタノールとエチルアルコールのような場合や慣用名を使った名称がからむような場合です。今回の勧告では、これらの名称のなかの 1 つを「優先 IUPAC 名」(PIN) とし (上の例ではエタノール)、その他の名称を「一般 IUPAC 名」と分類しています。その上で、様々な分野で使われることを考え、共通性をもった名称として PIN の使用を推奨しています。一方で、使用する分野や状況によっては「一般 IUPAC 名」を使った方が便利ということもあり、その場合はそちらの名称を使用することも認めようという考えです。

2013 勧告には、情報の爆発的増大や国際化の中で、1 つの化合物にはできるだけ 1 つの名称を用いることが望ましいとの要請が、索引作成や商工業、環境・安全情報の分野での法規制などにおいて強まっていることが PIN を提案した背景であると書かれています。このような事情もあり、今回導入された PIN は、学術分野のみならず企業・公共機関での活動にも大きな影響を与え、今後国際的にその使用が普及していくと思われます。

詳細な実例と解説のある 2013 勧告を参照すれば、多くの場合に PIN を決めるのはそれほど困難ではないと考えられますが、2013 勧告は約 1,600 ページ (価格 175 ユーロ) の大部の書であり、個人が手許において常時参照するのも大変なので<sup>4)</sup>、普及にはかなりの時間がかかると予想されます。

命名法専門委員会としては、化学会の出版物では、当面 PIN だけでなく 1979 勧告と 1993 勧告に基づく名称もあわせて使用することを考えていますが、PIN の普及のための活動として、より詳細な紹介を本誌やホームページなどにより今後行っていく予定であります。

## 文献・註

- 1) Nomenclature of Organic Chemistry: Sections A, B, C, D, E, F and H, 1979 Edition ©1979 by IUPAC (Pergamon Press)
- 2) A Guide to IUPAC Nomenclature of Organic Compounds: Recommendations 1993 ©1993 by IUPAC (Blackwell)
- 3) Nomenclature of Organic Chemistry: IUPAC Recommendations and Preferred Names 2013 ©2013 by IUPAC (The Royal Society of Chemistry)
- 4) 2013 勧告は化学会館内の化学情報センターに所蔵されています。閲覧をご希望の方は電話(03)3292-6171 または FAX(03)3292-6319) でお問い合わせ下さい。